

鼻副鼻腔粘膜悪性黒色腫に重粒子線治療を行った患者さんへ

量子科学技術研究開発機構では、鼻副鼻腔粘膜悪性黒色腫に対する重粒子線治療における最適な照射野設定、線量を調べるための後ろ向き観察研究を行いたいと考えています。

この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の[問い合わせ先：窓口]へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づき開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 鼻副鼻腔粘膜悪性黒色腫に対する重粒子線治療の最適な照射野、線量設定に関する研究

[実施期間] 2021年許可日～2022年9月30日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 QST病院

[研究責任者] 小藤 昌志

[研究の目的] 重粒子線治療が行われた鼻副鼻腔粘膜悪性黒色腫症例の局所再発部位と臨床情報、照射野設定、線量分布の関係を検討し、至適な照射野、線量設定を明らかにすることを目的とします。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる方々

2001年7月から2018年2月までに当院にて化学療法併用の重粒子線治療が行われた鼻副鼻腔粘膜悪性黒色腫の方

●利用する情報及び利用方法

2021年2月までに得られた、診断名、年齢、性別、臨床情報、副作用、CTやMRI、治療計画等の画像を利用します。新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報は、お名前、住所など患者さんを直接同定できる個人情報を削除し、匿名化した状態で研究機関内に設置されたデータセンターに集めて解析を行います。

また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。（研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い取り扱います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2021年11月30日までに下記[問い合わせ先：窓口]にお申し出くださるようお願い致します。解析は11月1日から開始します。11月30日以降のお申し出であっても、可能な限りデータを解析から取り除きますが、既に集計し解析に用いられ個人を識別できない状態の情報は取り除けない場合があります。そのような場合であっても、患者さんの個人情報が公表されることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門

QST病院 小藤 昌志 電話：043-206-3306（平日9:00～17:00）

